

50年程前からパーム油(植物油・油脂)を生産するため、アブラヤシのプランテーション(大規模農場)の開発がボルネオ島で始まりました。そのため熱帯雨林はこの半世紀の間に50%が減少したと言われています。野生生物は居場所を失い、続けず絶滅、または減少、絶滅に追いやられています。

食べ物求めてオランウータンやゾウは民家や農場に入り、荒らしてしまうことがら入との間で軋轢が起きています。日本でも同じようにヒグマなどの農作物や人的被害が問題になっています。

パーム油とは、アブラヤシという作物からとれます。他の植物油と比べてイ西木各が安く、少ない面積でたくさんの油をとることができ、世界で一番生産量・消費量が多い植物油です。加工食品や洗剤、バイオマス発電など、多用に使用されています。日本では寒くてアブラヤシが育たない

食品では、スナック菓子、アイスクリーム、チョコレート、インスタント食品、粉ミルク、冷凍食品、お惣菜、パンなど加工食品に食品以外では、シャンプーや洗剤、化粧品、医薬品、インクなど私達が日常的に使っているものにパーム油は使われています。スーパーやコンビニで販売されているものの50%はパーム油を使っているといわれています。食品にはパーム油ではなく、「植物油脂」「マーガリン」など、洗剤では「界面活性剤」と表記されていることがほとんどなのでなじみないと感じる方も多く、「見えない油」とも言われています。私達の生活と、ボルネオ島の現状は深く関係しているのです。

ふだんスーパーで見かけることが多くないRSPO認証マーク
ですが(株)ロバパンで製造されている食パン「本仕込」には、
RSPO認証マークがついています。製造業者側のお話を
池田さんと渡久山さんにうかがいました。

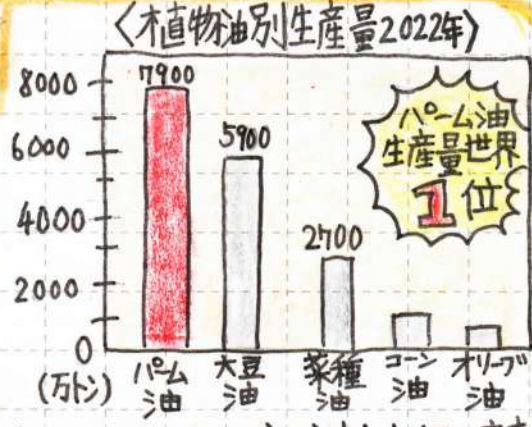
A1. 数年前から、バイオスインキ・バイオス原料を使用した留め具、包材プラスチックの軽量化など、SDGsの環境問題について取組みをしてきました。RSPO認証マークもその考えからお买单方することにした。

A2、周りにこのマークをつけている会社がいなかったため、新たにしくみや
ルールを作りました。ロバパンだけでなく原材料メーカー、販売会社

など関連する会社の協力が不可欠でした。
RSPDは本部がマレーシアで書類や監査が
外国語だったことも大変でした。



200種類以上の哺乳類、600種類以上の鳥類、その種類以上の両生
 八虫類、そして調べるとたびに新種が見つかる程の昆虫類、さらに
 1500種類以上の植物が確認されている地球上でもっとも生物多様
 性に富んだ貴重な島なのです。



パーム油は
赤ちゃんからお年寄り
まで朝から夜まで使
たり食べたりし
ている油です。



④ 現状を知ること、伝えること
「パム油」を知る人はあまりにも少ないと言わ
れています。この問題を知る人が1人でも増え、伝
えてゆくことで大きな力になります。ボルネオ島を
支援している団体もあるので調べてみてください。

RSPO言説正マークの商品を選ぶこと
RSPOとは無計画に森林伐採せずに、熱帯雨林
の持続可能な生産や人権に配慮されて生産された
パーム油の証明です。 買い物をする時、このマ
ークを探してみましょう。



←わが家にあるRSPO
認証マークの商品

保全のためのグッズや飲料を選ぶこと
 寄付金はもちろん、サポートグッズの購入なども
 保全活動の支えになります。例えば、
 旭山動物園では、寄付型の自動販売
 機が設置されていたり、サポート
 グッズを売店で買えます。
 WAONホルネオ保全カードは買い物
 代金の一部がホルネオの保全活動に寄付されます。

ふたんのお買い物を
て保生活動に協力
することができます。



バルネオ島は東南アジアの赤道直下に位置する地で三番目に大きい島です。インドネシア、マレーシア、バルネイの三カ国が領有しています。豊富な雨と温暖な気候が豊かな熱帯雨林を育んでいます。



私は幼い頃から生き物に興味がありました。色々な動物の生能やふるさについて学んでいくうちにボルネオ島の現状が心に深く残りました。遠い国の問題が私達の日常に深く関係していることに敬服したからです。今回はボルネオ島の現状など二人でも多くの人に知ってもらいたいと田井の記事を書きました。



ボルネオ島新聞



2025年
海野
匠吾

パーム油ってよくないらしいよ。

ポテチ

だけどオレ達には関係ないよ。
ポテチ食おうぜ!

ちよとまって！
そのポテチはもちろん、チョコ
レートやハンバーガー、ポテト
ドーナツ、石けんなど、いつも
使っているものにパムは由は
使われているんだよ。



これがRSPD
のマークなんだ
探してみるよ

目標はあるけれど「ゴール」はない

旭山動物園では、2009年からボルネオの保全活動に積極的
に取り組んでいます。NPO法人企業や地中や住民そして他の動物園
協力してイベントの開催もしています。今回は佐賀さんにお話を伺いま
した。

Q1 ボルネオに行った感想を教えてください。

A1.はじめに行った時(2008年)と比べて、今は思った以上に森が少なくなっている。あるところにはあるけれど、別の所へ移動したら、いきなりなくなっているという印象。

Q2. みんなに知ってもらいたいことはありますか?
A2. 今何が起きているのかということを、ほくろに伝えなければならぬし、それを知ってもらわなければならぬ。

Q3. 今後の活動について教えてください。

A3. 今取り組んでいることを引き続きやっていくこと、新たな計画もある。ずっとやり続けることが保全活動では大事なことで、目標はあるけれどゴールはないというふうに思っています。

系編集後記 ボルネオ島という遠い国の問題は身近なヒグマ問題や金鉱路のメガソーラー問題としても似ているように感じました。経済活動と環境保護の両立はとても難しい問題ですがロバさんは企業の努力を担うだけでは保全を系統する意志を感じました。